

# 阿南 ぶらりまち紀行

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!



開催期間 1月4日(金)までの17:30~20:30(予定)  
場所 スーパーセブン上中店から北へ約300m

11月25日、上中町岡の田んぼに出現した大都市・東京の夜景。岡青年会による光のイベント「岡ルミナリエ」が始まった。夕闇に燦然ときらめく光の芸術品は、何とも幻想的で美しい。多い日には200人を超す家族連れやカップルが訪れるそうだ。まちの親父たちからの一足早いクリスマスプレゼントに、心を温かくした人も多いだろう。

上中町岡は、LEDのトップメーカー、日亜化学工業(株)の本社が立地する、いわば「LEDの里」である。「岡ルミナリエ」は、そんな世界に誇る地域資源を生かした「おひざ元」ならではの取組だ。同社から無償で譲り受けた3万個のLED電球を使い、阿南市特産の竹と組み合わせた光のモニュメントを制作。あらかじめスケッチしたイメージ図を見ながら、県道沿いの田んぼに設置していく。今年「東京スカイツリー」が開業したことにちなんで「東京の夜景」に決まった。制作に1カ月、設置に3日を要した。「誰一人いやな顔をする人はいませんよ。」と誇らしげに語るのは、会長の湯浅



正敏さん(51歳)。30人の有志とともに20年余り活動を続けてきた。「地域のために労を惜しまない人たちがばかり。会員同士のきずなはどこよりも強いです。」と言い切る。「子どもたちの喜ぶ姿を思い浮かべながら頑張っています。地域の方々の協力が活動の支えになっています。」とも。寒風に耐え、黙々と作業をこなす背中が誇りさえ感じる。作品の一つ一つから、そこに込められた思いや手のぬくもりが伝わってきた。

ひときわ目を引く「ミニスカイツリー」を見上げながらこう話しかけてみた。「実物の60分の1くらいですかね」。すかさず「ほうやなあ。でも、志は実物と変わらんくらい高いで。」と返ってきた。その高い志で、これからも夢と感動を与えてほしいと思う。

